

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が落下するおそれがあります。
- 枠固定金具は指定の固定ねじで柱と固定してください。固定ねじの締忘れは枠・本体の脱落の原因になります。
- 上レールは出荷時に鴨居に仮固定されています。必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。

■取付け上のおお願い

- 本製品は、ケーシング付タイプ薄壁用（片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸）は壁厚（111～141mm）、厚壁用（片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸）は壁厚（142～182mm）、片引戸2枚建・引違い戸3枚建は壁厚（146～176mm）、片引戸3枚建は壁厚（186～208mm）に取付けられます。
- ノンケーシングタイプNC156（片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸）は壁厚（116～130mm）、NC171（片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸）は壁厚（131～145mm）、NC180（片引戸・片引戸2枚建・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸）は壁厚（146～160mm）、NC210（片引戸3枚建）は壁厚（170～190mm）に取付けられます。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現地手配」と記されている場合は除きます。）
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤（現地手配）を併用してください。かい木を使用する場合、かい木の両面に接着剤（現地手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には、必ずすき間をつくって納めてください。
- 縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整して柱とあてて、内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合は、かい木を入れてください。
- 上枠とまぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
- かい木には合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 本製品は上吊方式を採用しています。梁（まぐさ）は、強度を増すため、断面寸法105×180（mm）以上を使用してください。
上枠の垂下がりの原因になります。
- 本体にガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープなど粘着力の弱いものを使用してください。
- 枠固定金具の調整範囲（調整幅7mm）をこえる開口部については、必ず柱・間柱・まぐさを入れ、調整範囲を満たすようにしてください。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品です。スリムタイプ本体には引手はありません。

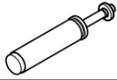
引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建用本体	片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用本体	引分け戸用本体
<p>1枚梱包×2／引違い戸2枚建用 1枚梱包×3／引違い戸3枚建用 1枚梱包×4／引違い戸4枚建用</p> <p>部品セット</p> <p>※部品セットは、本体1枚ごとに同梱しています。</p>	<p>1枚梱包×1／片引戸用 1枚梱包×2／片引戸2枚建用 1枚梱包×3／片引戸3枚建用</p> <p>部品セット</p> <p>※部品セットは、本体1枚ごとに同梱しています。</p>	<p>1枚梱包×2／引分け戸用</p> <p>部品セット</p> <p>※部品セットは、本体1枚ごとに同梱しています。</p>
引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建用枠	片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用枠	引分け戸用枠
<p>召合せパッキン(2本) (引違い戸4枚建のみ) ※召合せパッキンは、本体取付けになります。なくさないようにしてください。</p> <p>戸当り(2本)</p> <p>縦枠(2本)</p> <p>鴨居</p> <p>フラット下レール</p> <p>部品セット</p> <p>取付け説明書</p>	<p>目かくし(片引戸3枚建のみ)</p> <p>縦枠</p> <p>小縦枠</p> <p>中縦枠</p> <p>戸当り(2本)</p> <p>鴨居</p> <p>幅木</p> <p>フラット下レール</p> <p>部品セット</p> <p>取付け説明書</p>	<p>召合せパッキン(2本) ※召合せパッキンは、本体取付けになります。なくさないようにしてください。</p> <p>戸当り(2本)</p> <p>小縦枠(2本)</p> <p>中縦枠(2本)</p> <p>鴨居</p> <p>幅木2本</p> <p>フラット下レール</p> <p>部品セット</p> <p>取付け説明書</p>
ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)	ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)	ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)

■枠セット明細

部材名称		片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
枠	鴨居	1	1	1	1	1	1	1
	縦枠	1	1	1	2	2	2	—
	中縦枠	1	1	1	—	—	—	2
	小縦枠	1	1	1	—	—	—	2
	幅木	1	1	1	—	—	—	2
	フラット下レール	1	1	1	1	1	1	1
	戸当り	2	2	2	2	2	2	2
	目かくし	—	—	1	—	—	—	—
	召合せパッキン	—	—	—	—	—	2	2
部品セット	片引戸用	1	—	—	—	—	—	—
	片引戸2枚建用・引違い戸2枚建・引分け戸用	—	1	—	1	—	—	1
	片引戸3枚建用・引違い戸3枚建用	—	—	1	—	1	—	—
	引違い戸4枚建用	—	—	—	—	—	1	—

■部品セット明細

□本体部品セット

部品名称	入数
ガイドピボット 	2

□片引戸部品セット

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	9
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
下レール取付け用皿タッピンねじφ4×30	14
吊車 	2

□片引戸2枚建・引違い2枚建・引分け戸部品セット

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	12
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
下レール取付け用皿タッピンねじφ4×30	26
吊車 	4

□片引戸3枚建・引違い3枚建部品セット

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	17
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
下レール取付け用皿タッピンねじφ4×30	26
吊車 	6

□引違い戸4枚建部品セット

部品名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×60	12
縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40	6
下レール取付け用皿タッピンねじφ4×30	26
吊車 	8

■開口部の作り方

■開口部寸法の出し方

開口A寸法 = 製品寸法(W) + 5mm

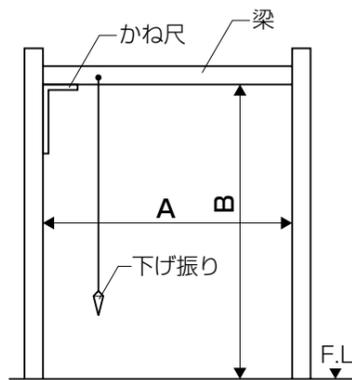
開口B寸法 = 製品寸法(H) + 5mm

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

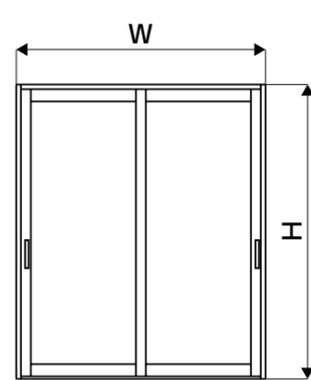
※本製品は、上吊方式を採用しています。

梁(まぐさ)は、強度を要するため、断面寸法105×180(mm)以上を使用してください。

■開口寸法



■製品寸法



■取付け順序

1 枠の組立て

■取付け詳細

1 枠の組立て

①吊車を互い違いの向きにして上レールに入れてください。

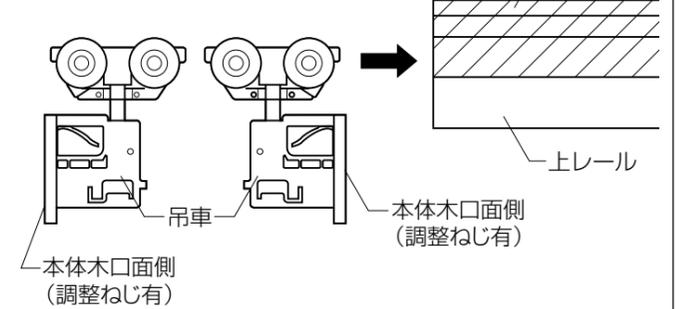
お願い

※枠タイプ(片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸)を確認し、上レールの本体取付け個所に吊車を入れてください。

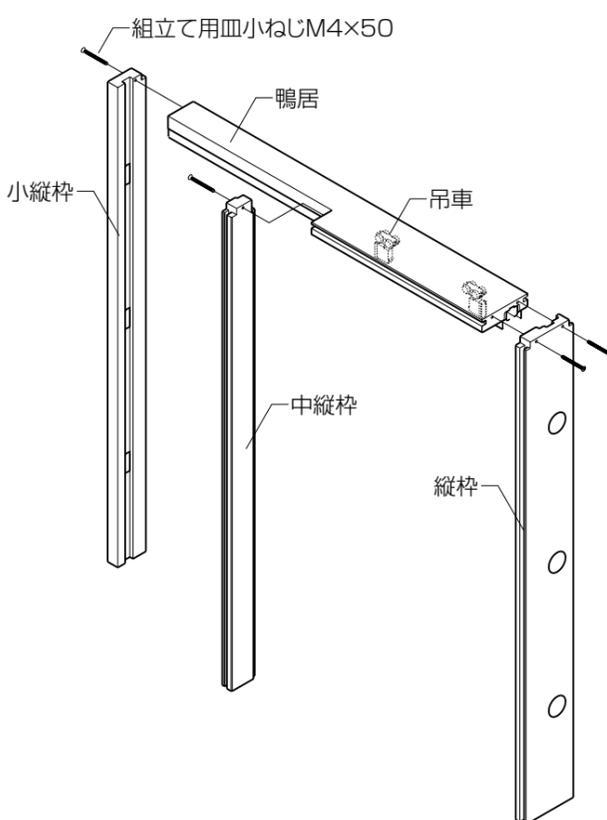
※枠組立て前に鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

②下図のように、各部材を組合せ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

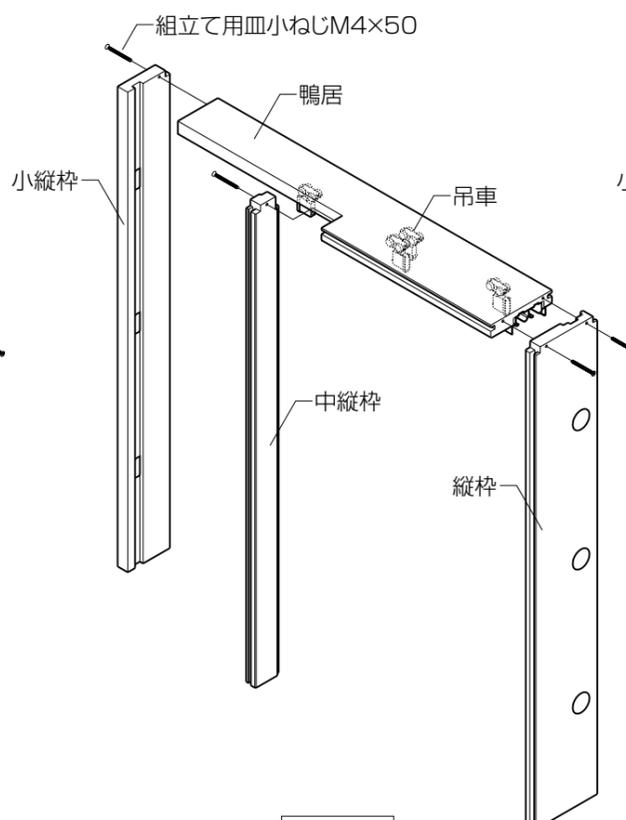
吊車を互い違いに入れる



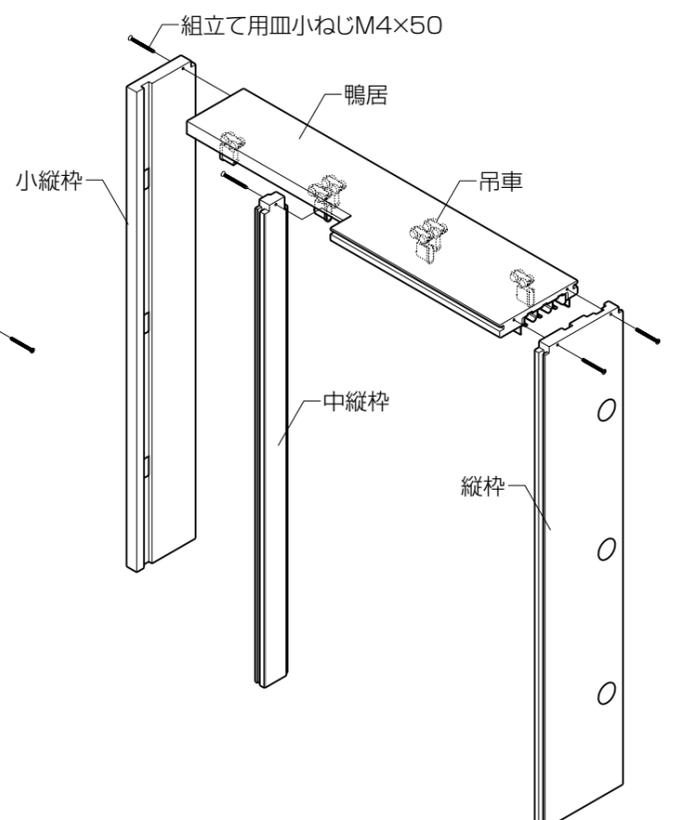
■片引戸



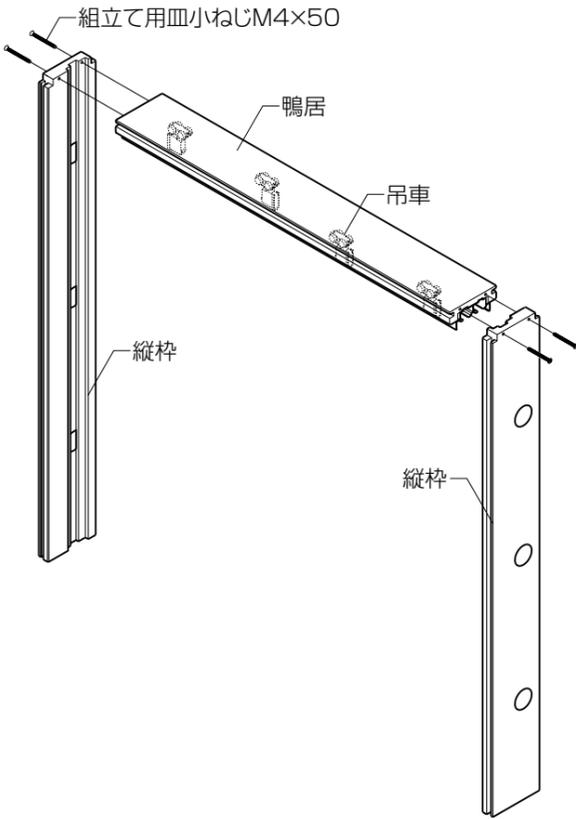
■片引戸2枚建



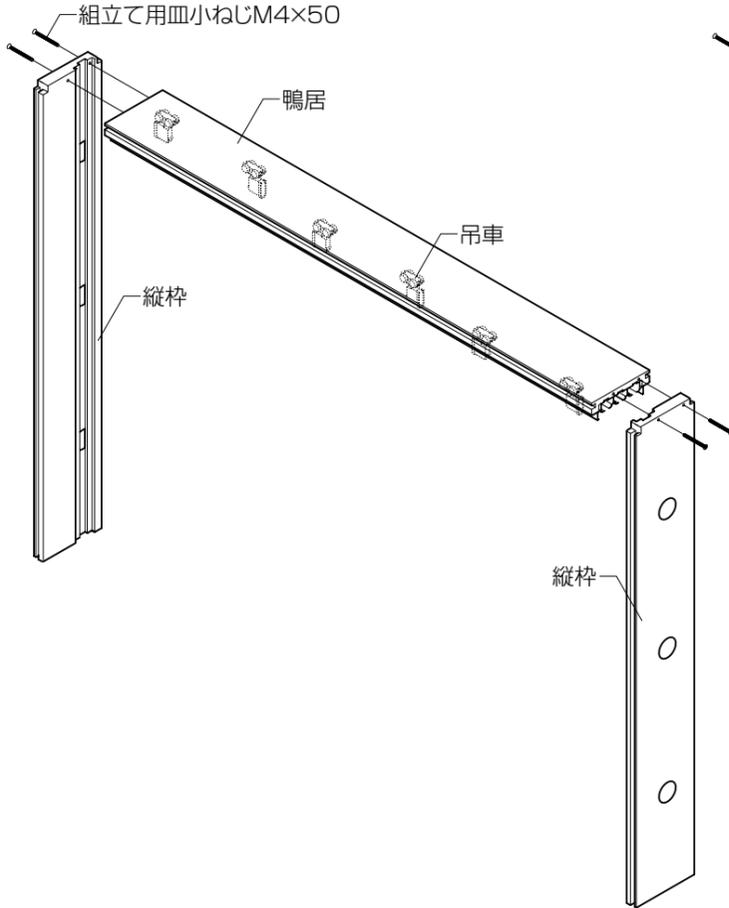
■片引戸3枚建



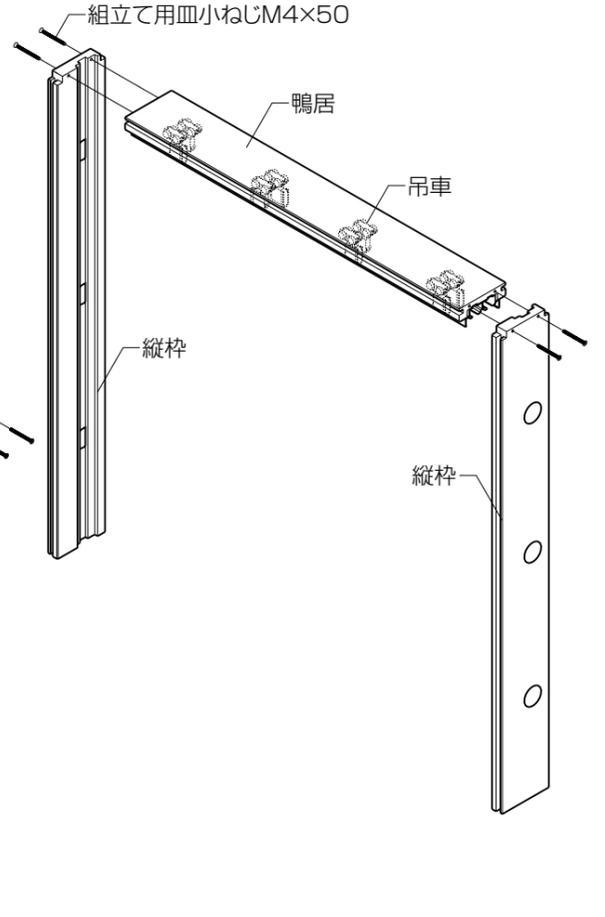
■引違い戸2枚建



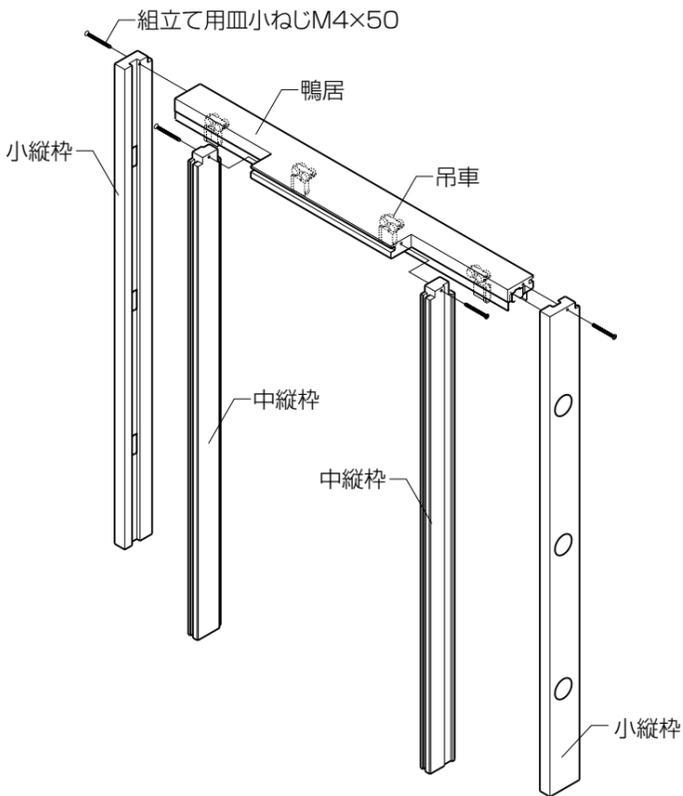
■引違い戸3枚建



■引違い戸4枚建



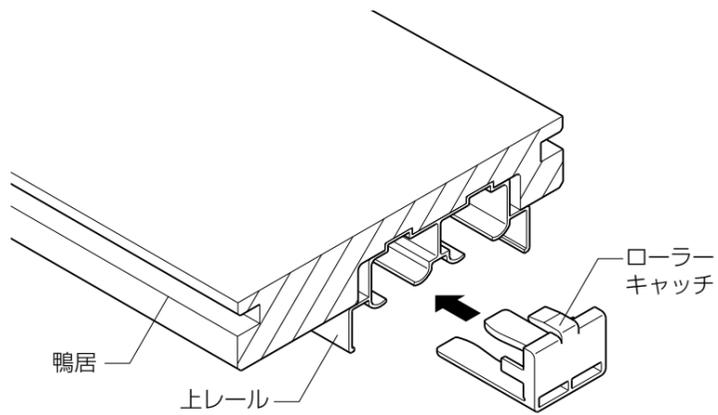
■引分け戸



お願い

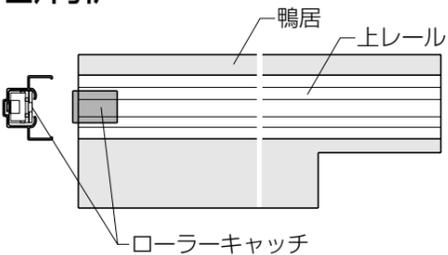
■引違い戸4枚建

- ①引違い戸4枚建は、ローラーキャッチを片方取外してください。
 - ②吊車を入れてください。
 - ③吊車取付け後、取外してあるローラーキャッチを元の位置に必ず取付けてください。
- ※片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建は、ローラーキャッチが取付けられていない上レール端部より吊車を入れてください。引分け戸にはローラーキャッチは付いていません。



【配置図】

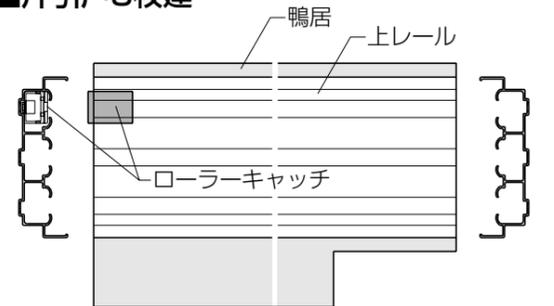
■片引戸



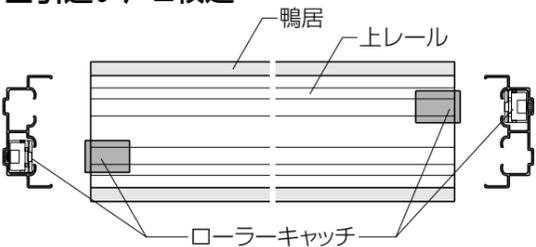
■片引戸2枚建



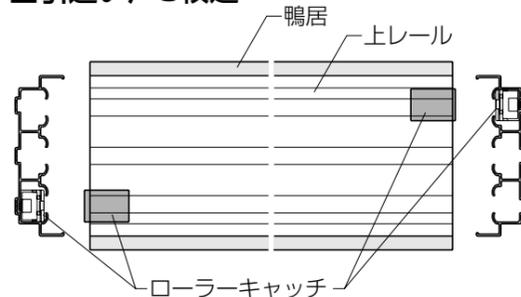
■片引戸3枚建



■引違い戸2枚建



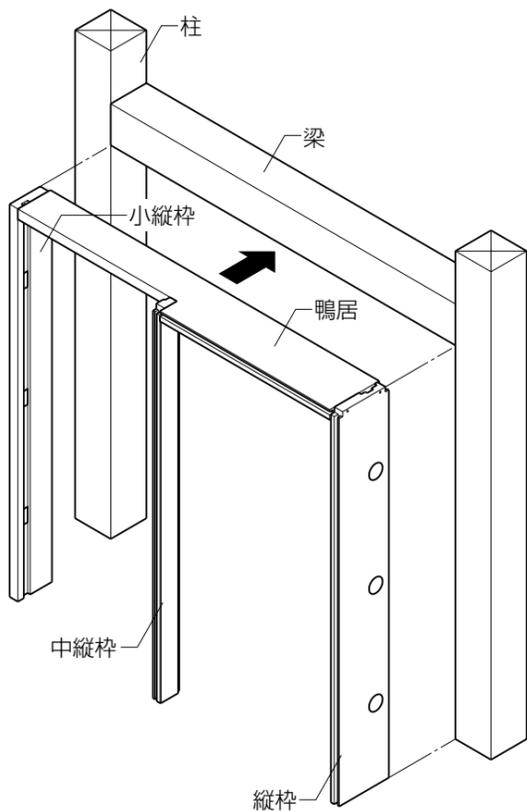
■引違い戸3枚建



■引違い戸4枚建



2 枠の取付け



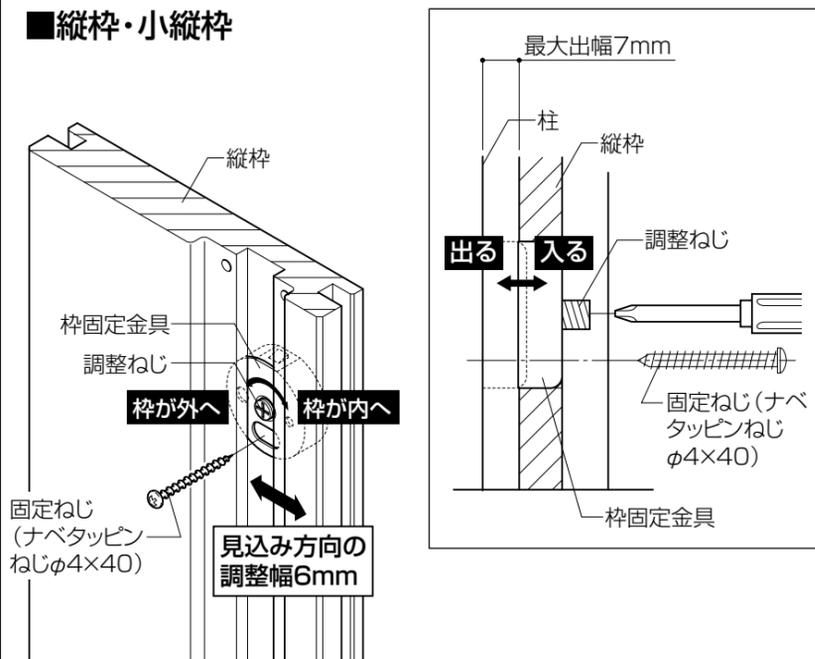
2 枠の取付け

- ①縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ②枠の垂直を確認してください。
- ③固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締付けてください。
- ④枠の奥行方向のたおれを確認してください。たおれている場合は固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです)調整後ねじを固定してください。

▲注意

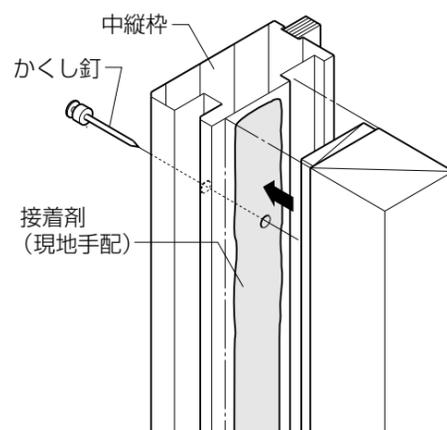
●枠固定金具は指定の固定ねじで柱と固定してください。固定ねじの締忘れは、枠・本体の脱落の原因になります。

■縦枠・小縦枠



■中縦枠

※裏面に接着剤(現地手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



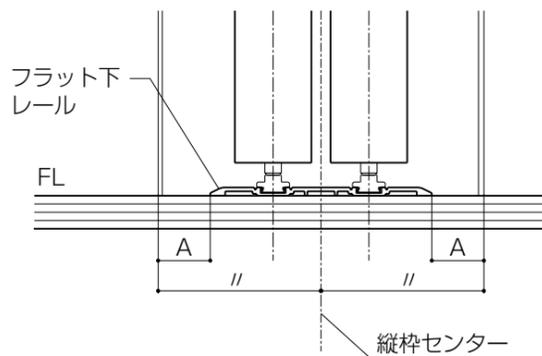
●お願い

- ※片引戸の建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取り付けてから施工してください。
- ※枠固定金具の調整には電動ドライバーは使用しないでください。
- ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

- ⑤枠の垂直方向を確認してから開口寸法(W方向)に問題がないか、フラット下レールを仮置きして確認してください。開口寸法が大きい場合は、調整ねじを時計回りに回し、小さい場合は、反時計回りに回して枠を調整してください。左右方向の調整範囲は片側で10mmです。
- ※フラットレールの位置出しは下図を参考に仮置きしてください。

■引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建

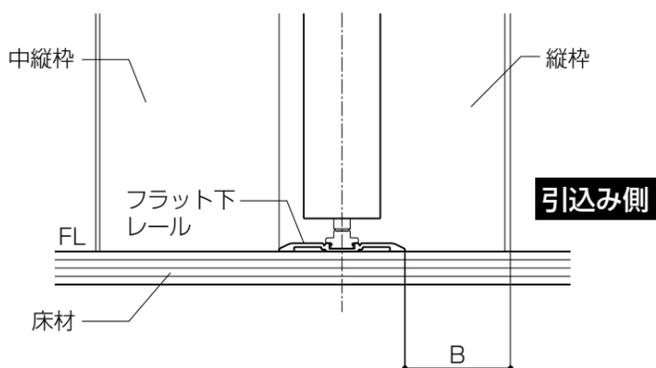
- フラット下レールは建具芯を中心に仮置きしてください。



枠種類	A
NC156(引違い戸2枚建・4枚建)	37.5
NC171(引違い戸2枚建・4枚建)	45
NC180(引違い戸2枚建・4枚建)	49.5
NC156(引違い戸3枚建)	20
NC171(引違い戸3枚建)	27.5
NC180(引違い戸3枚建)	32
薄壁(引違い戸2枚建・4枚建)	17
厚壁(引違い戸2枚建・4枚建)	30.5
C付150(引違い戸3枚建)	17

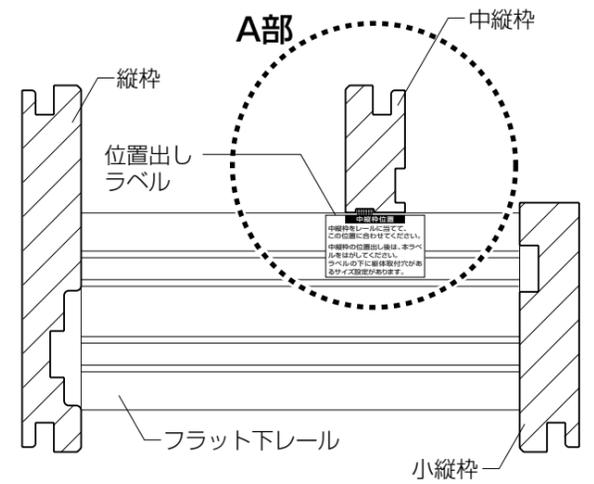
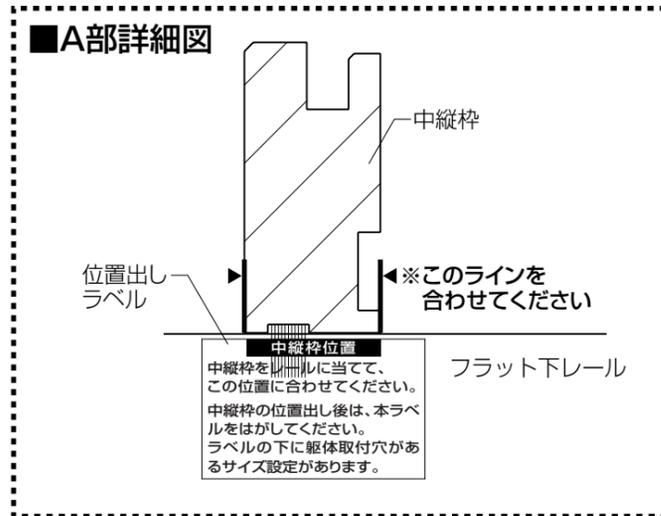
■片引戸

- フラット下レールは引込み側にB寸法あけて仮置きしてください。



枠種類	B
NC156(片引戸・引分け戸)	37.5
NC171(片引戸・引分け戸)	52.5
NC180(片引戸・引分け戸)	61.5
NC180(片引戸2枚建)	26.5
NC210(片引戸3枚建)	21.5
薄壁(片引戸・引分け戸)	17
厚壁(片引戸・引分け戸)	44
C付150(片引戸2枚建)	17
C付190(片引戸3枚建)	22

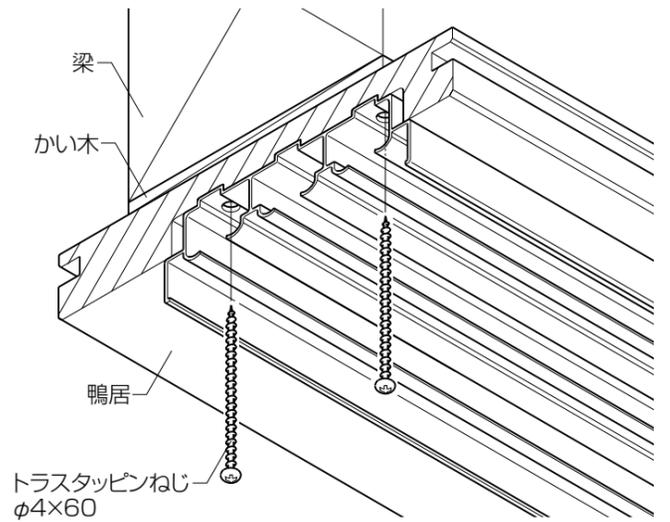
⑥片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸の場合、中縦枠の位置出しは、フラット下レールの位置出しラベルに合わせて取付けてください。



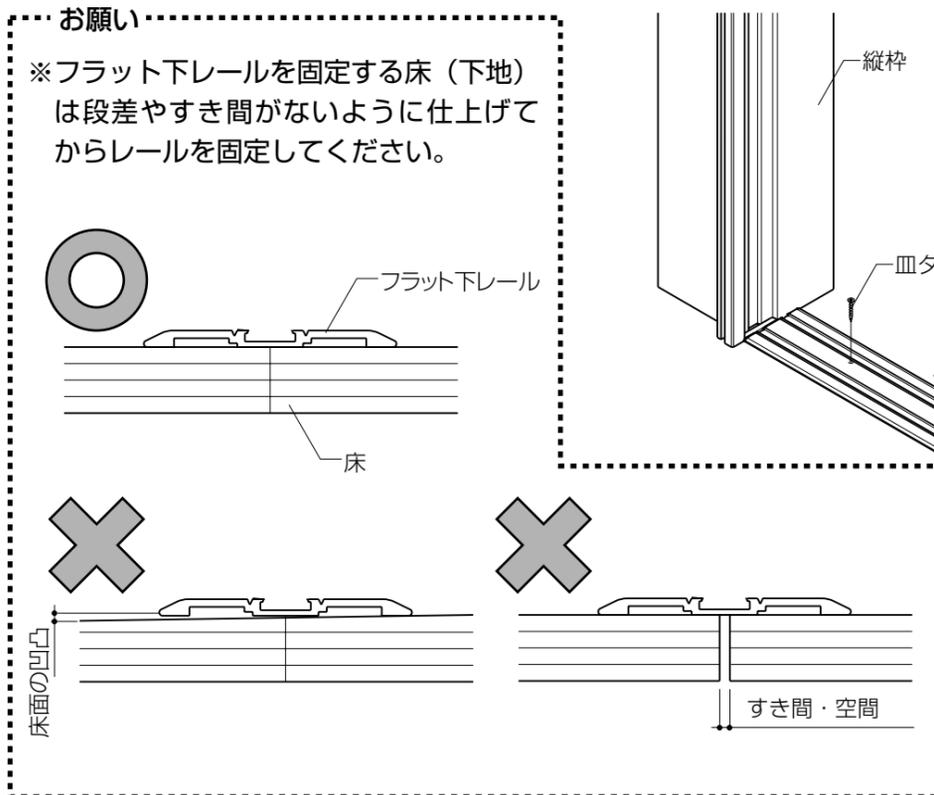
⑦再度、枠の垂直を確認してください。

⑧鴨居はかい木を入れて、上レールの穴からトラスタッピンねじφ4×60で躯体に固定してください。

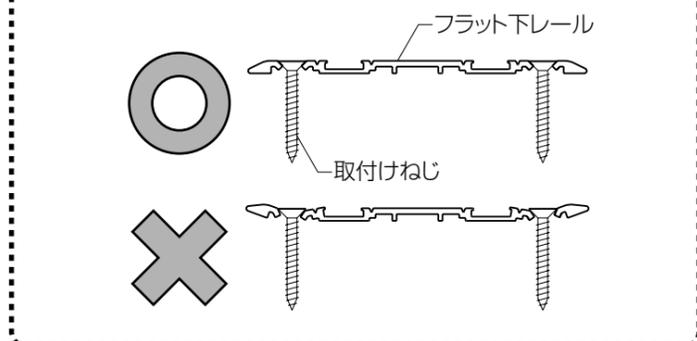
お願い
 ※鴨居の躯体固定ねじを締めすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体を吊込んだときに動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。



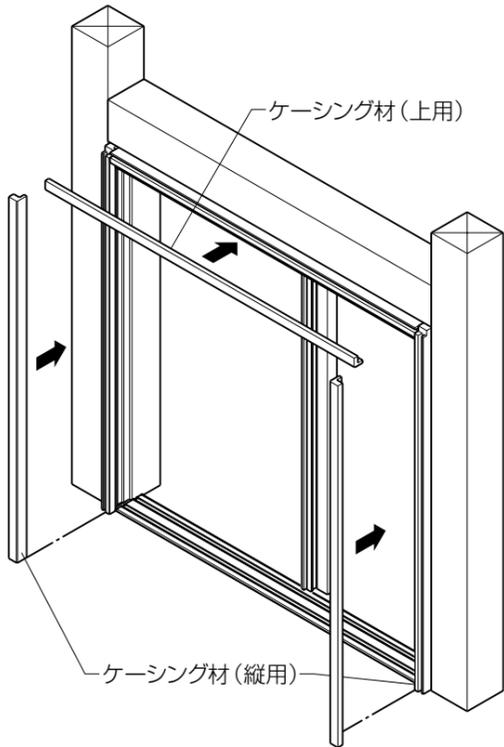
⑨フラット下レールをねじ（皿タッピンねじφ4×30）で固定します。



お願い
 ※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。

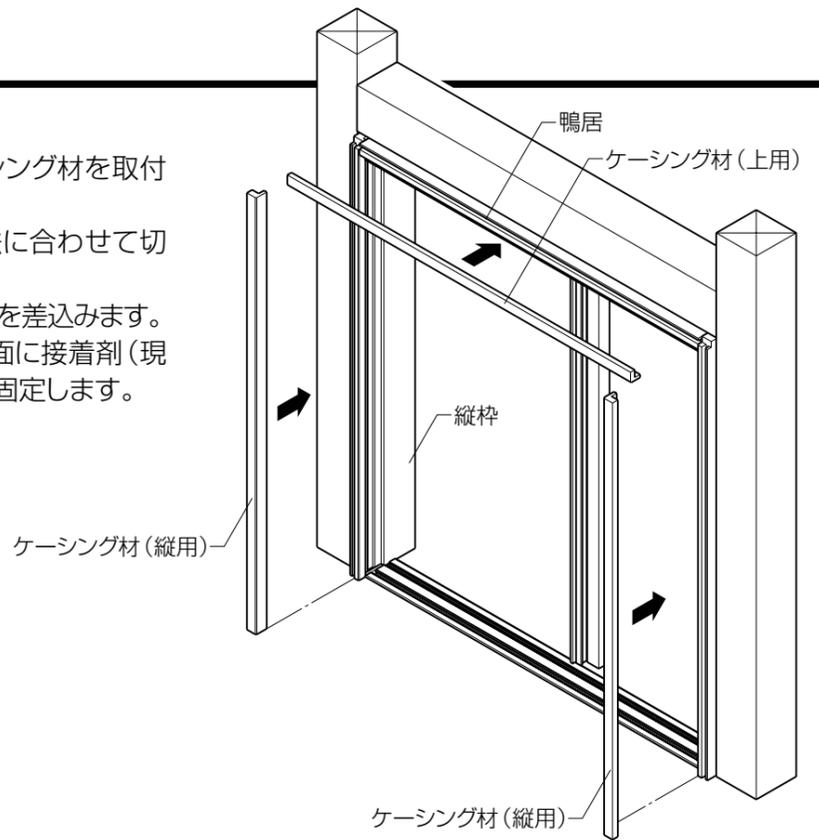


③ ケーシング材の取付け

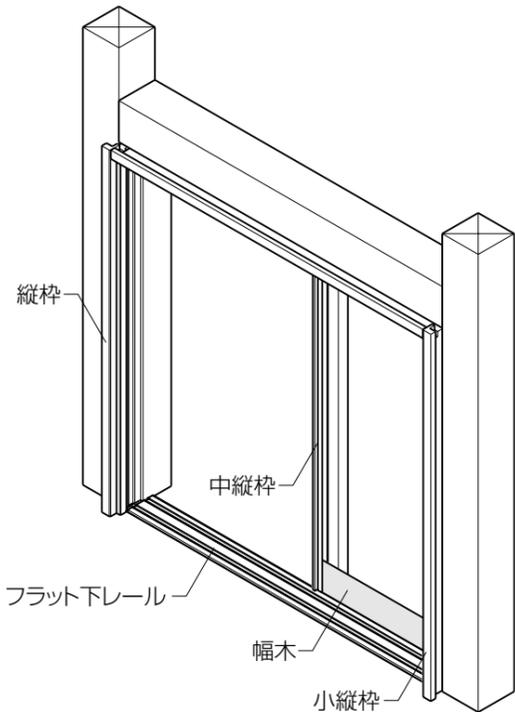


③ ケーシング材の取付け

- ※壁材・床材を仕上げた後、ケーシング材を取付けます。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
 - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現地手配)を塗布し、ケーシングを固定します。

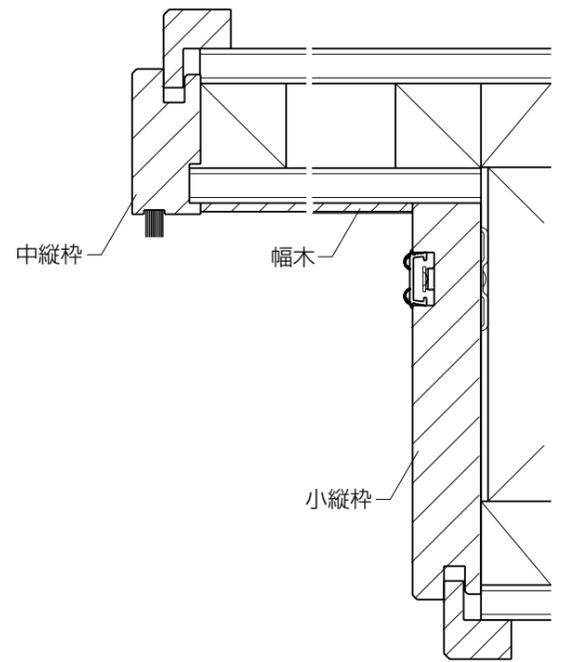


④ 幅木の取付け

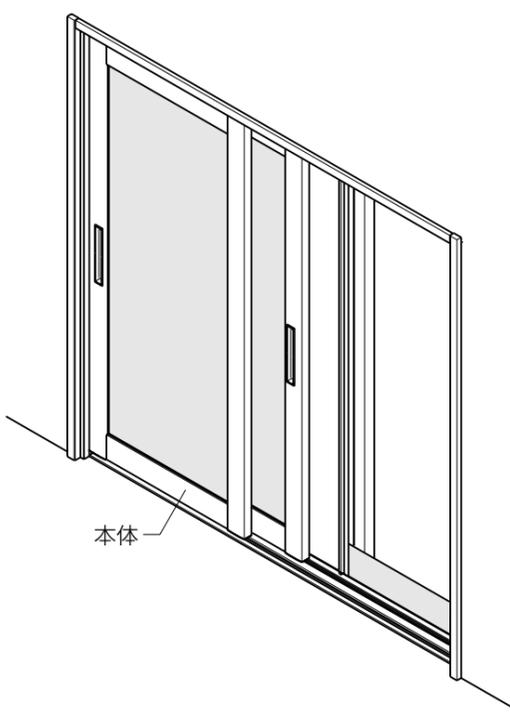


④ 幅木の取付け

- ※小壁のボードとフラット下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤(現地手配)を塗布し、専用のかかし釘で固定します。かかし釘のピッチは、200~300mmです。



⑤ 本体の吊込み

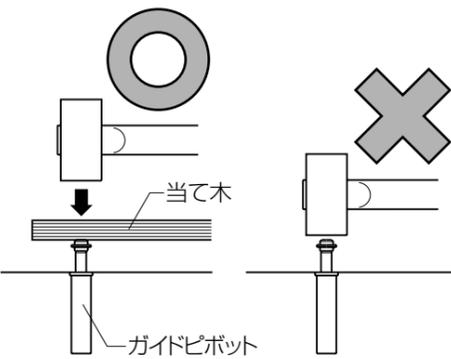


⑤ 本体の吊込み

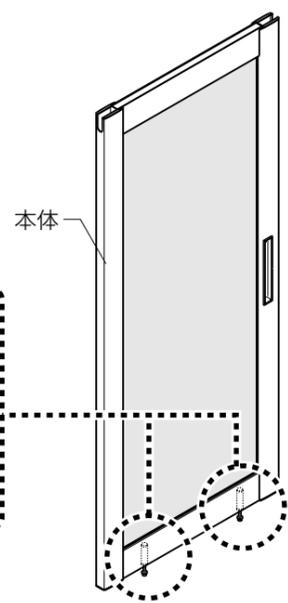
- ①本体下端の加工穴にガイドピボットを圧入します。

お願い

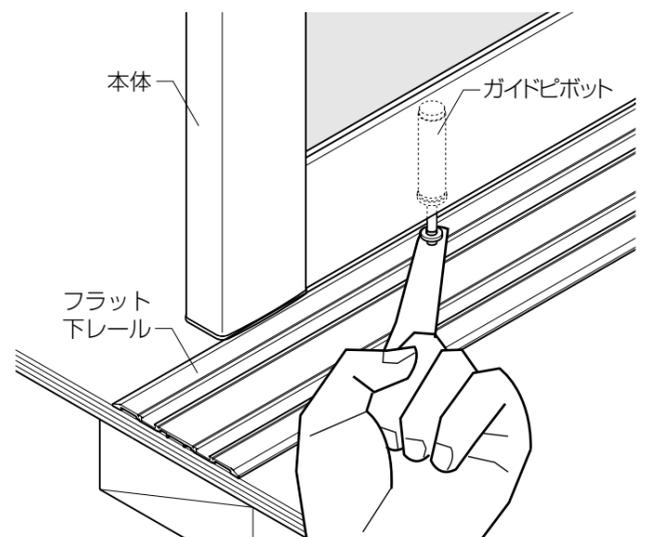
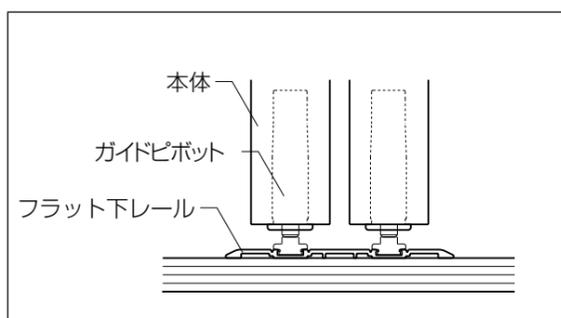
- ※ガイドピボットを圧入する際は、樹脂部に当て木を使用してください。



●ガイドピボット



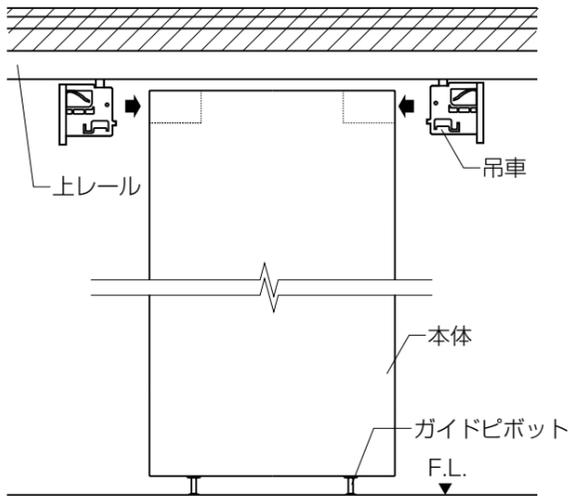
- ②ガイドピボット先端を指で押さえ、フラット下レールへ差込みます。



- ③片側ずつ吊車を本体に**水平に押込む**と、ワンタッチで取付けられます。
 ※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。

▲ 注意

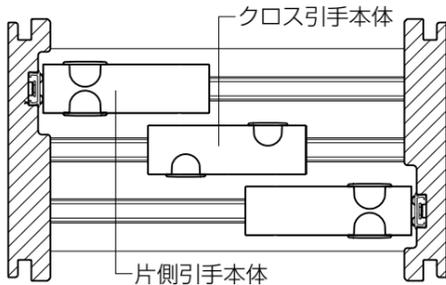
- 吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押込んでください。押込み後、引張って抜けないことを確認してください。押込みが足りないと本体が落下するおそれがあります。



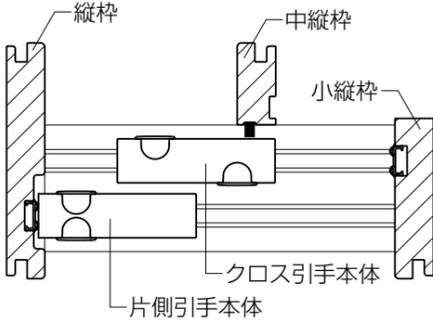
お願い

- ※片引戸2枚建・片引戸3枚建・引違い戸3枚建本体には片側引手本体とクロス引手本体があります。引手方向(勝手)を確認してから枠に吊込んでください。
- ※スリムタイプ本体には引手がないため本体に勝手にありません。ただし、ハーフミラーガラスには表裏があるため、本体が複数ある場合はブランドラベル面を同じ側にしてください。

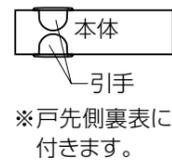
■引違い戸3枚建(概略参考図)



■片引戸2枚建(概略参考図)



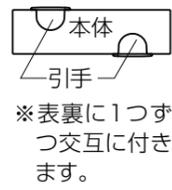
■片側引手本体



※戸先側裏表に付きます。

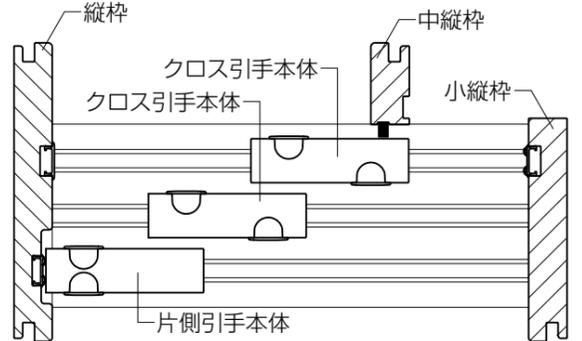


■クロス引手本体



※表裏に1つずつ交互に付きます。

■片引戸3枚建(概略参考図)



■本体の建付け調整

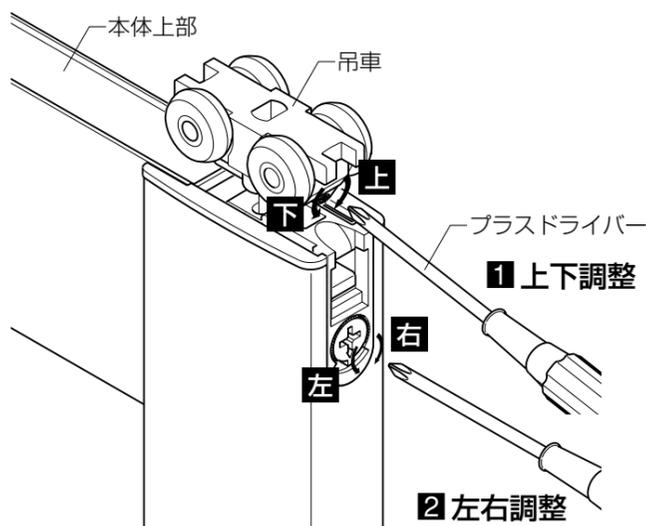
※本体の吊車には、上下方向および前後方向の調整機能が付いています。

1 上下調整(調整幅+4mm、-1mm)

- プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。
- ※本体を下げすぎると振止めベース部と本体が当たりますので、下げすぎないでください。

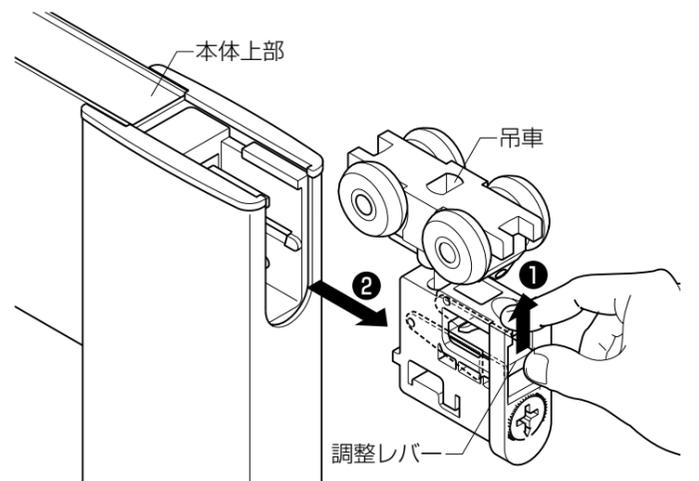
2 前後調整(±2mm)

- 前後調整は、プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。



3 本体の取外し方法

- 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。

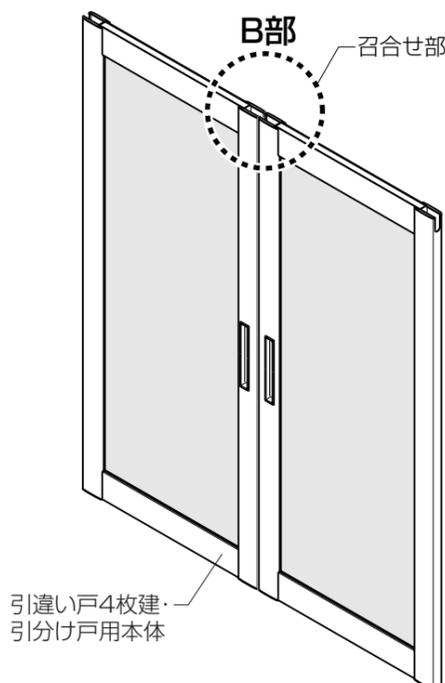


■召合せパッキンの取付け

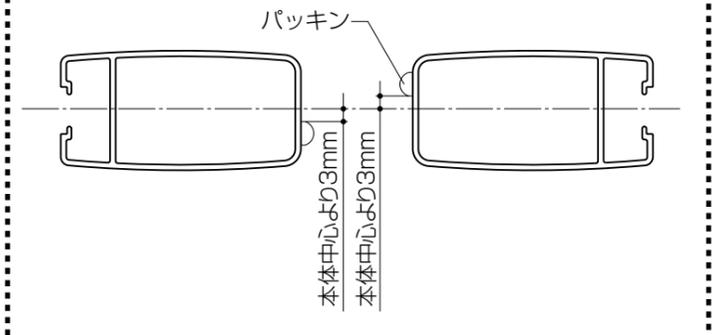
- 本体の吊込み・建付け調整を行った後、引違い戸4枚建・引分け戸用本体の召合せ部に、本体に同梱のパッキンを取付けます。
- パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で押して張付けます。パッキンは、長めのものを同梱していますので、現場でカットしてください。

お願い

- ※パッキンは、必ず本体を吊込んで、建付け調整を行ってから張付けてください。
- ※パッキンは、張付け面のホコリ・汚れ・油分などを取除いてから張付けてください。



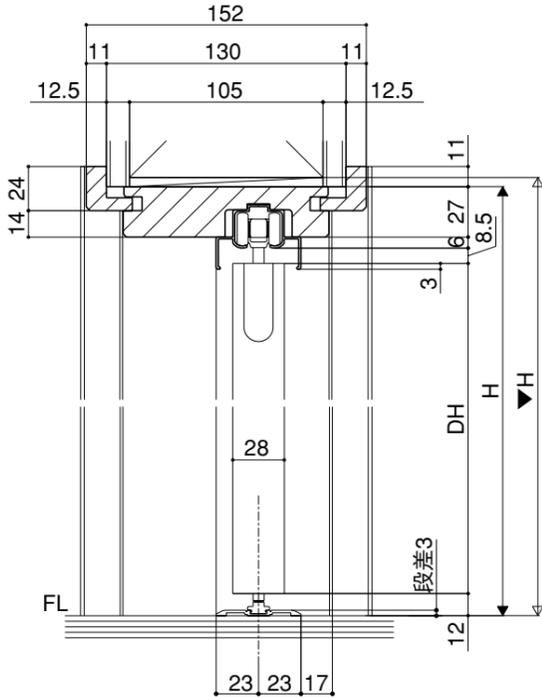
■B部詳細図



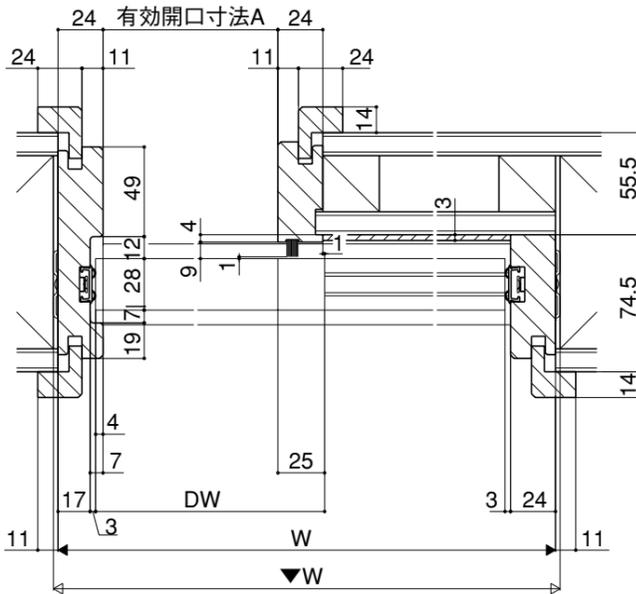
■参考納まり図

■可動間仕切り引戸スライドタイプ 片引戸ユニット ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



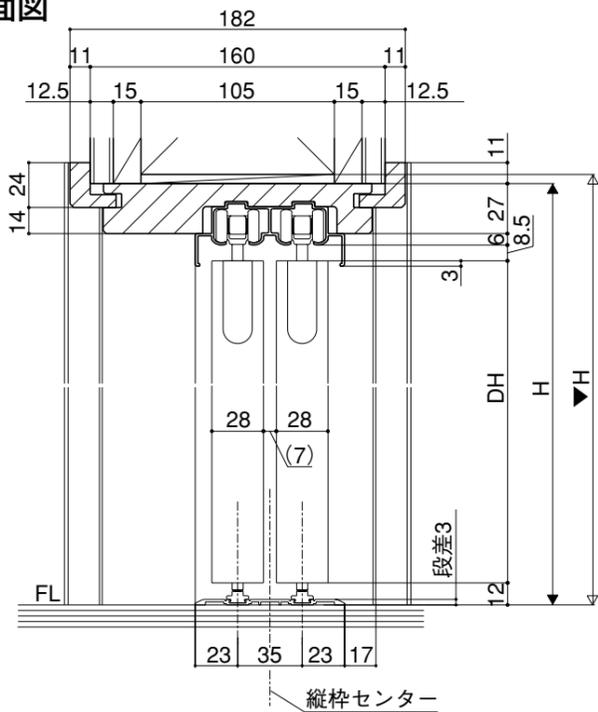
基本 寸法 (mm)	W呼称	16	18
	W(DW)	1644(811)	1824(901)
	H呼称	20	23
	H(DH)	2023(1969.5)	2306(2252.5)

部材名称	薄壁用	厚壁用
	枠幅寸法	枠幅寸法
縦枠	115	142
小縦枠	67	94
中縦枠	52	52
鴨居	111	138
フラット下レール	46	46

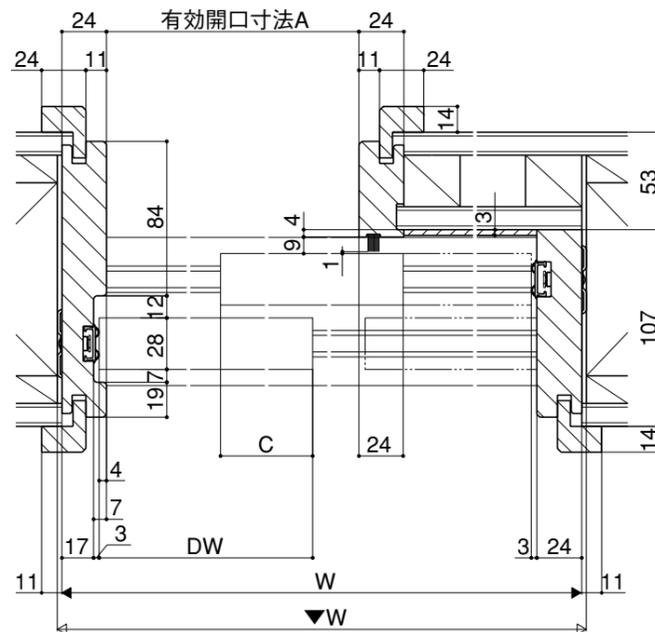
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W16(1644)	782
W18(1824)	872

■可動間仕切り引戸スライドタイプ 片引戸2枚建ユニット ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



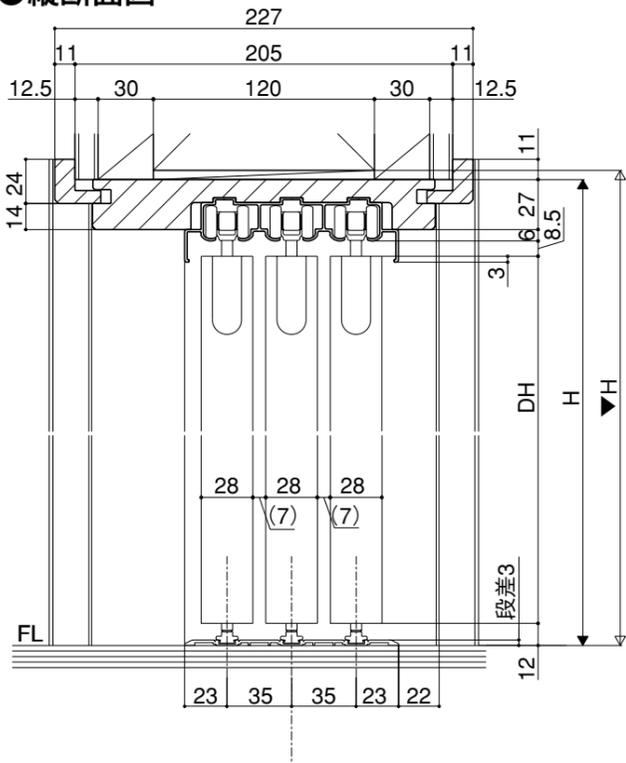
基本 寸法 (mm)	W呼称	25	24(スリム)
	W(DW)	2478(837)	2448(820)
	H呼称	23	
	H(DH)	2306(2252.5)	

部材名称	枠幅寸法
縦枠	150
小縦枠	102
中縦枠	52
鴨居	146
フラット下レール	81

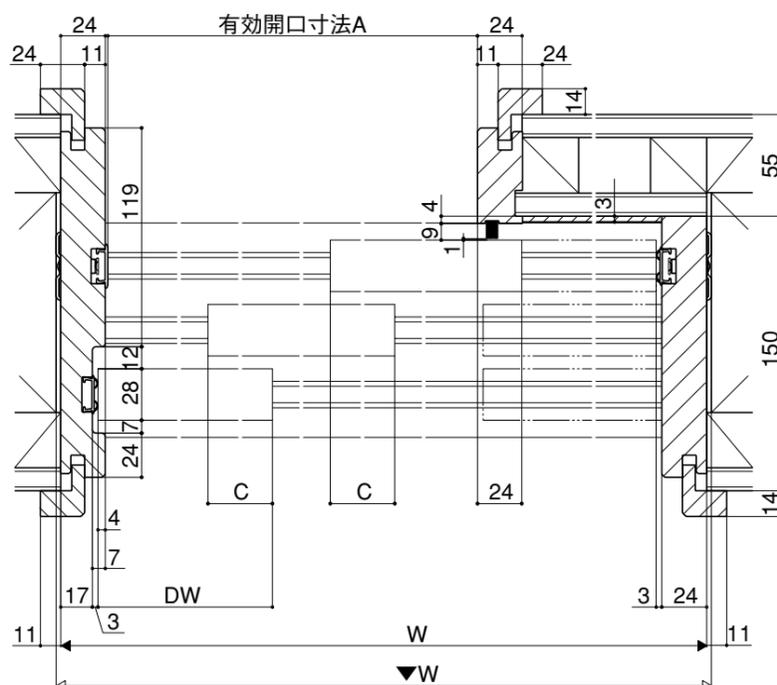
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	C寸法
W25(2478)	1590	56
W24スリム(2448)	1577	35

■可動間仕切り引戸スライドタイプ 片引戸3枚建ユニット ケーシング付

●縦断面図



●横断面図



基本 寸法 (mm)	W呼称	32	32(スリム)
	W(DW)	3259(837)	3233(820)
	H呼称	23	
	H(DH)	2306(2252.5)	

部材名称	枠幅寸法
縦枠	190
小縦枠	142
中縦枠	52
鴨居	186
フラット下レール	116

W呼称 (枠外寸法)	A寸法	C寸法
W32(3259)	2369.5	56
W32スリム(3233)	2362	35

